

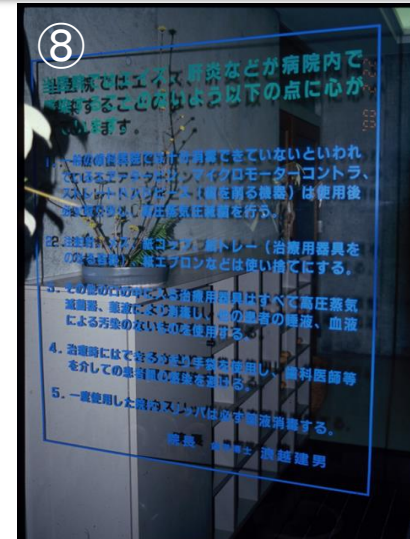
開業当初から実践してきた

院内感染予防対策

スタンダードプレコーション実践のポイント

- (1) スタッフ全員で感染防止、管理に取り組む
 - (2) 器具・器材はそれに応じた洗浄・消毒・滅菌方法を知り、患者ごとに交換する
 - (3) 唾液、血液などに触れる場合、付着した恐れがある器具・器材に触る場合は必ずグローブを着用する
 - (4) 唾液、血液に触れたグローブで未感染部位に触らない
 - (5) 唾液、血液等での汚染が出来る限り最小限なるような機器採用や工夫をする
-

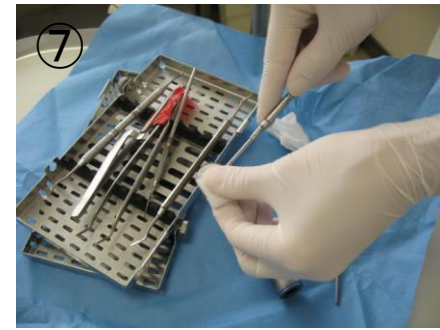
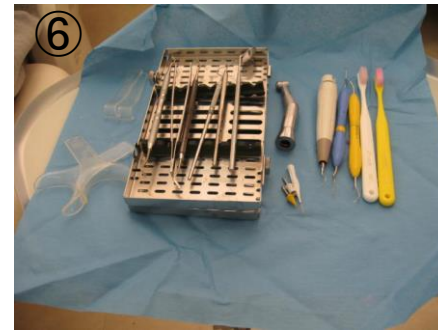
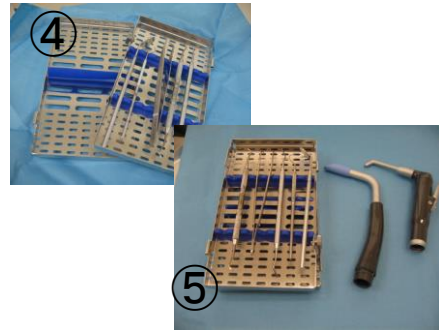
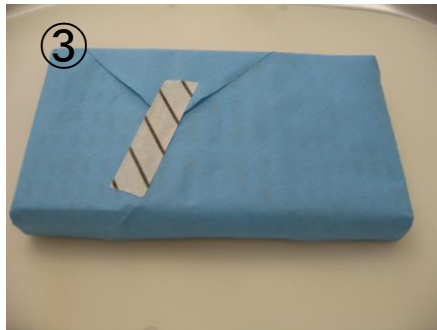
診療室における清掃、洗浄、消毒、滅菌作業



- ①② 必要な場所は確実に清掃を行う③④洗浄、消毒、滅菌は地道な作業である
- ⑤⑥技工室、石膏トラップなど汚れやすい場所、部位は特に注意したい
- ⑦開院以来スリッパは一回使用すると回収し、薬液、手洗いで洗浄している
- ⑧医院入りロドアに表示してある院内感染予防に関する説明



⑧



①患者ごとに、コントラ類はもちろん、術者が手で掴むスリーウェイシリンジのスリーブ部、バキュームのスリーブ部まで外し、オートクレーブにかける。

②患者を迎え入れる前の状態。消毒、滅菌された基本セット、コントラ類、スリーウェイシリンジス(スリーブ部を含む)、バキューム(スリーブ部を含む)が用意されている。

③-⑦当院で使用している基本セット。

IMSカセットシステム(ヒューフレディ)は少し大きめの不織布を採用することで、器材などの置き場所が十分確保でき、チェア一周りの唾液による汚染が回避できる。

当院における基本セット

使用している医科用グローブ



①保管庫中のグローブ



② 購入搬入時のグローブ



③ ひと月のグローブ代は約20～30万円

ハンドピース類、他の器材の洗浄、消毒、滅菌



①ハンドピースにはウォッシュブルマークなどが表示されている

③ミーレジェットウォッシャーG7891

②超音波洗浄機 ハンドピースに使用することはないが、他の器材の洗浄には欠かせない

④ハンドピース類、基本セットなど洗浄、消毒が安心して行える

ハンドピース類の滅菌、保管



- ①ハンドピース類のメンテナンスは不可欠である 左:ルブリナ(モリタ製作所) 右:クアトロケア(KaVo)
装置がない場合は手作業での注油が必要となる
- ②滅菌パックは一本ずつおこなう
- ③クラスB オートクレーブ リサ(白水貿易)
- ④保管スペースに余裕があれば、取り出しやすい

口腔外バキュームの効果



①超音波スケーラー使用 口腔外バキューム無

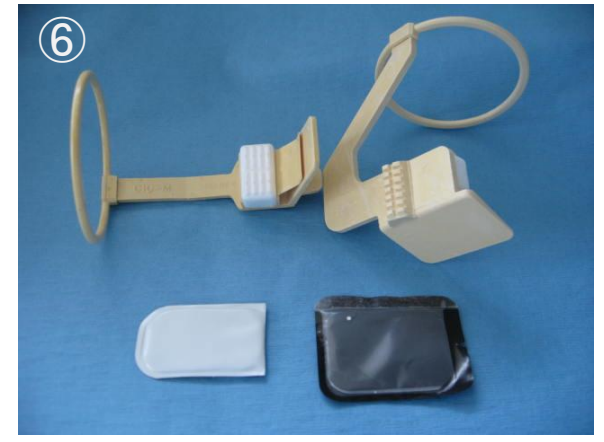
②タービン使用 口腔外バキューム無

③超音波スケーラー使用 口腔外バキューム有

④タービン使用 口腔外バキューム有

(東京歯研ホームページから引用)

滅菌できない器材、部分への対応



- ①ユニットの清拭は頻繁に行う
- ②近年給水管路クリーンシステムを備えたユニットも登場している
- ③台所用ラップを保護カバーに用いる場合もある
- ④⑤ 滅菌できない部分はビニールカバーで保護する
- ⑥デンタルX線撮影のイメージングプレートにもカバーを行う

白衣、技工物への対応



- ① 白衣は殺菌灯付きロッカーに保管 私服と保管場所は区別したい
- ② 技工物は出来る限りの消毒、滅菌を心がけたい
- ③ 仕上がった技工物、模型を、消毒済みのパックに入れ返却する技工所もある